

# 「アコード」の魅力をさらに一段上の領域へ高める先進技術

爽快な走りとともに、その優れた快適性、安全性でも世界から評価される「アコード」。

アコード ハイブリッドでは、ドライビングをサポートする技術、ネットワークを活用したカーナビゲーション

「インターナビ」のさらなる進化により、「アコード」の魅力をさらに一段上の領域へと高めました。

## 前走車を自動で追従して、クルージング時の疲労を軽減 ACC (アダプティブ・クルーズ・コントロール)

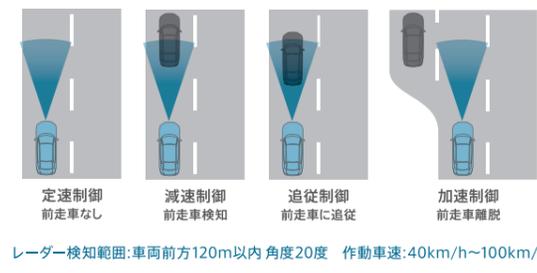
タイプ別設定

フロントグリル内に設けた、耐候性に優れたミリ波レーダーにより、前方120m、角度20度の範囲で前走車との距離を測定し、車速センサーやヨーレートセンサーによって自車の走行状態を検出。通常のクルーズコントロール同様、設定した速度を保つ走行のほか、同一車線の前走車の有無によって車速・車間を自動制御します。

定速制御	希望の車速に設定することにより、定速走行を開始。
減速制御	自車線の前走車が設定車速より遅い場合、スロットルやブレーキの制御を行い減速。前走車の急ブレーキや割り込みなどで減速しきれない場合は警告音と表示でドライバーの操作（ブレーキ等）を促します。
追従制御	前走車の車速変化に合わせて、設定した車間になるよう追従（車速の上限は設定車速まで）。車間は4段階に設定可能。
加速制御	自車線の前走車が車線変更した場合は、設定車速までゆるやかに加速し、定速走行に戻ります。

※ACCは前方不注意の危険性を解消する装置ではありません。車間距離制御、車間接近制御、減速能力には限界があります。  
※進路状況、天候状況によっては使用できない場合があります。

### ACC (車速/車間制御機能)の基本制御パターン(概念図)



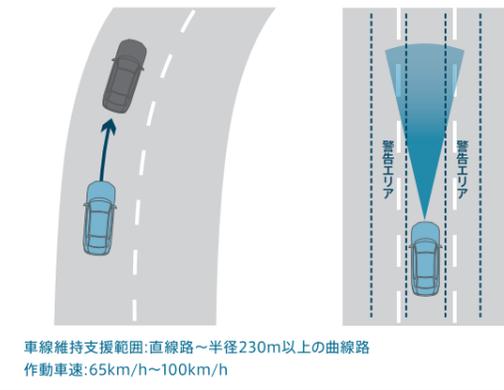
## コーナーに合わせてステアリング操作をアシスト LKAS (車線維持支援システム)

タイプ別設定

フロントウィンドウ上部内側に設けたカメラが捉えた画像をもとに、車線を認識し、EPS (電動パワーステアリング)に適切なトルクを発生させ車線維持をアシスト。時速65km以上、直線路から半径230m以上の曲線路で作動するため、ほとんどの高速道路での使用が可能です。また、車線から逸脱する可能性がある際には、警報によりドライバーに注意を促します。これによりドライバーは車線を維持するよう意識し、軽いステアリング操作によってシステムに意思を伝えることで安定した車線維持が可能となります。

※LKASは運転者のハンドル操作に代わるものではありません。ハンドルから手を放したまま走行し、ハンドル操作を怠ると作動しません。  
※制限速度を超えると、半径230m以上のコーナーでも作動しないことがあります。  
※道路状況、天候状況に加え、荷物の積載量やタイヤの空気圧など、車両状況によっても作動しないことがあります。

### 車線維持支援システム(LKAS)作動イメージ



## 快適で安全・安心、環境に配慮したカーライフの実現をサポートするインターナビ

Hondaが蓄積してきた膨大な走行データを元にして、より早く、正確、そして多彩なルート案内などを行うことを可能にした、「Hondaインターナビ」。単なる「道案内」をするためのナビゲーションではなく、快適で安全・安心、そして環境に配慮したカー

## internavi LINC Premium Club

ライフの実現をサポートする、先進のカーナビゲーションです。さらに、事故などの緊急時に迅速な対応を可能にする新サービス「緊急通報サービス (ヘルプネット®)」を、アコード ハイブリッドよりスタートさせ、進化を加速させていきます。

## 新サービス「緊急通報サービス(ヘルプネット®)」

事故でエアバッグが作動した際など、Bluetooth®接続された携帯電話やスマートフォンを通じ、事故後の救急救命に役立つ情報をコールセンターへ通報。一刻を争う状況に、専門のオペレーターが迅速に消防や警察の出動要請を行います。車両の位置などの車両情報、事故の状況を自動的に通知して、緊急車両による迅速な対応をサポートする、Honda インターナビの新サービスです。

- ◆ 緊急通報サービス(ヘルプネット®)は、インターナビ・リンク プレミアムクラブとヘルプネット®を登録申し込みされたナビゲーションに付帯するサービスです。
- ◆ 事故による搭乗者や被害者のケガだけでなく、ドライブ時の急病や、第三者の緊急通報時にもご利用いただけます。
- ◆ 当サービスではロードサービスは行えません。別途「QQコール」のご契約が必要となります。



エアバッグの作動に連動して、ナビ画面に割り込み表示。「接続する」を選択し、実行ボタンを押すだけで通報できます。

Honda インターナビシステムに接続された携帯電話、スマートフォンから車両情報(現在位置、走行軌跡、衝突方向、衝突時の速度、シートベルト着用情報、エアバッグ展開データなど)がコールセンターに発信・通報されます。



365日24時間、いつでもオペレーターが対応。現在位置など車両情報を把握しながら会話できます。

オペレーターはデータ送信で送られた車両情報を把握し、通報者との会話・要請により消防、警察などの機関に接続します。



出動要請に対応して、救急車、レスキュー隊、パトカーなどが現場へ駆けつけます。

緊急事態発生場所や、必要な救急救命活動が予め伝えられているため、的確で迅速な対応が可能になります。



オペレーターが車両から送られた車両情報とともに消防、警察などへ出動要請を行います。

- 警察、消防などへの関係機関に通報をするサービスであり、直接、救助活動を行うものではありません。
- お客様の意思に関係なく、エアバッグの展開など、状況に応じてオペレーターの判断で関係機関に通報することがあります。
- 法令で利用者に課せられる通報義務が免除されるものではありません。
- システムの接続性を含め、確実な通報を保証するものでなく、利用者又は第三者の生命、身体、財産等の安全を保証するものではありません。
- 緊急通報サービスに対応する携帯電話を準備し、事前に接続等の設定をしていただく必要があります。対応できない携帯電話もあります。
- 緊急通報サービス利用時にかかるプロバイダ利用料、データ通信、通話等の通信費はお客様の負担となります。
- 詳しくは利用規約をご確認ください。
- ヘルプネット®は、株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。